

始良市議会だより

あいあいがさ

6月
定例会
No.60

令和7年8月31日発行



p2

物価高騰対応重点支援(補正予算)

p6

市民目線で市政を質す

p10

ここを調査しました

p12

あなたの写真を掲載しませんか

始良小学校5年生による田植えの様子



一般会計補正予算審査報告

第1号補正 1億3,523万2千円

第2号補正 3億2,142万円

補正予算総額

4億5,665万2千円を

可決

補正後の令和7年度予算総額 386億6,065万2千円

第1号補正は、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用する事業予算及び国や県等からの補助金交付内示に伴う経費。

◎eスポーツ活用事業 600万円(当初予算600万円) 合計1,200万円

「eスポーツフェス開催事業費」1,000万円

問 3か年計画の内容と、委託業者の選定方法を示せ。

答 子どもから高齢者まで楽しめる多世代交流型イベントを毎年実施する予定である。
イベントの内容の見直しも毎年行い、委託業者はプロポーザル方式により選定する。



「福祉施設での利用促進事業費」200万円 UDeスポーツ(福祉施策)

問 ※UDeスポーツについて、機器を購入して福祉施設等に貸し出すとのことであるが今後の計画について説明せよ。

答 関心を示した福祉施設へ機器を貸し出し、モデル事業所として取り組んでいただく。利用者やそこで働く職員の方々に興味を持ってもらうことを第一に考える。またeスポーツフェスにも参加いただくことを期待している。

※ UDeスポーツ(ユードイースポーツ)とは、「ユニバーサルデザイン・エレクトロニック・スポーツ」の略で、年齢や障がいの有無などにかかわらず、誰もが参加し楽しむことができる、施設・自治体向けの「eスポーツ」サービスのこと。

◎保育所等給食支援事業 4,541万1千円

問 事業で使用されている物価上昇率22%の根拠を示せ。

答 物価上昇率22%は、鹿児島県が肉類や穀類などの消費者物価指数の平均値をもとに定めたものである。

◎物価高騰対策入学・就職等準備支援金給付事業 6,729万1千円

問 支給額2万円と、住民票の基準日を10月1日とした根拠を示せ。

答 児童1人あたり2万円という支給額は、国から示された交付金の範囲内で検討した結果、2万円としたものである。また基準日については、進学先や就職先・入学金の準備などが年末に向けて決まる時期であることから、年内に支援金を給付できるよう事務手続き等に要する期間を勘案し、10月1日を基準日とした。



◎コミュニティ助成事業 250万円

問 助成事業申請で、採用されず多くの団体が待つような状況であれば、制度を変えていく必要があるのではないか。

答 継続して申請をいただいているため、すぐに制度を変更することは難しいが、待ちの状態が続いていく場合は、今後の申請状況を見ながら対応を検討する。

◎校区コミュニティ協議会支援事業 297万2千円

問 世帯数に応じた段階的な支給はできないのか。

答 世帯数の差は把握しているが、世帯数だけに基づく支給では、小規模なコミュニティでは活動が難しくなるため、基本割と世帯割を併用している。

◎消防業務事業 154万6千円

令和7年7月18日に沖縄県で開催される「第53回九州地区消防救助技術指導会」に鹿児島県代表として派遣するための旅費等の経費。



ロープブリッジ救出チーム



引揚救助チーム

◎生活保護一般管理費 162万8千円

◎水門等管理委託事業 45万7千円

◎小学校教育振興事業 85万円

中学校教育振興事業 25万円

◎参議院議員選挙費 42万円

議員間討議

- 子育て世代や若者への支援として施政方針に沿った予算であることは評価する。
- eスポーツ活用事業は3か年計画なので、PDCAサイクルを念頭に、事業を行った後もしっかりと内容を確認、評価を行いながら、次年度への事業改善に繋げる必要がある。
- 校区コミュニティ協議会支援事業について、物価高騰対策目的での支給だが、効果については検証する必要がある。

第2号補正は、NHK放送受信料の支払額が確定したことに伴う費用、及び令和6年分の所得税額等が確定したことに伴う定額減税補足給付金。

◎令和7年度NHK放送受信料 283万9千円

テレビやカーナビなど40台分の契約漏れにより、過去に遡って支払う分264万9千円及び今年度残り分19万円。

◎定額減税補足給付事業(不足額給付) 3億1,858万1千円

実施に要する経費(給付事業費及び給付事務費)について、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金(補助率10/10)を充当する。

条例 始良市税の一部改正

可決

① 特定親族特別控除の創設

(令和7年分の収入を基礎とする令和8年度からの個人住民税に適用されます)

▼対象者

年齢19歳以上23歳未満の親族
(大学生年代の子など)

▼改正前

合計所得が48万円を超えると控除を受けられない。

▼改正後

合計所得金額が58万円超123万円以下の場合、合計所得に応じて控除を受けられる。

学生などがアルバイト等で得られる収入が一定範囲内で増えても扶養控除を受けられるようになり、物価高騰で困窮している学生への支援と家庭の税の負担が緩和されます

●特定親族特別控除 (扶養親族の合計所得金額と納税義務者の特定親族特別控除額)

扶養親族の合計所得金額	納税義務者の特定親族特別控除額
58万円超 95万円以下	45万円
95万円超 100万円以下	41万円
100万円超 105万円以下	31万円
105万円超 110万円以下	21万円
110万円超 115万円以下	11万円
115万円超 120万円以下	6万円
120万円超 123万円以下	3万円

② 原動機付自転車の税率

排ガス規制の強化により、総排気量50cc以下の原付バイクの生産・販売が困難になることをうけ、令和7年4月から125cc以下のバイクでも最高出力を4.0kw以下に抑えられたものであれば、原付免許で乗れるようになりました。それに伴い税率も変更となります。

●原動機付自転車の税率区分

車両区分	総排気量	最高出力	税額(年額)	ナンバープレート
第一種	50 cc以下	—	2,000 円	白色
第一種	125 cc以下	4.0kw 以下	2,000 円	白色
第二種	50 cc超～90 cc以下	4.0kw 超	2,000 円	黄色
第二種	90 cc超～125 cc以下	4.0kw 超	2,400 円	桃色

その他の条例改正

- 始良市都市計画税
- 始良市特別職非常勤職員の報酬及び費用弁償

可決

条例 始良市国民健康保険税

可決

国民健康保険税や後期高齢者支援金等の基礎課税限度額が引き上げられます。

一定の所得を有する方には負担増となりますが、低所得の方には負担軽減となります。

▼主な質疑

問 今回の法定軽減対象となる世帯数は、2886世帯が対象となる。

▼反対討論

国民健康保険税が増えることにより、滞納者が増加し、医療を受けられない市民が増えることに繋がる。

契約 あいら清掃センター基幹的設備改良工事

可決

民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律第12条の規定に基づき、議会の議決を求めるもの。

▼契約金額

42億3500万円(工期は令和11年2月28日まで)

▼主な質疑

問 選考会において、具体的な設備の提案があったか。
答 改修後は、二酸化炭素排出量を46%まで削減できる提案があった。

問

建屋躯体の劣化状況は調査しているのか。
答 3年おきに「精密機能検査」を実施している。

請願

ゆたかな学びの実現・教職員定数改善、義務教育費国庫負担制度の2分の1復元を求める自治体議会意見書採択の請願

請願者 瀬戸口 典久
紹介議員 有川 洋美

▼趣旨

教育の機会均等と水準の維持向上を図るとともに、すべての子どもにゆたかな学びの保障や学校における働き方改革を進めるため、国の関係機関への意見書提出を請願するもの。

▼反対討論

国庫負担割合を2分の1に還元することに固執しているように受け取られるため、請願内容の表題や構成に改善の余地があり、より受け入れやすい内容で請願する必要がある。

▼賛成討論

日本の教育予算額は他国と比べても低いため、もっと拡充していく必要がある。

▼結果

不採択／賛成8 反対12



6月定例会ではこんなことが決まりました!

●賛否一覧表

(○…賛成 ×…反対 一…欠席 ※議長 小山田邦弘は表決に参加しない。)

議 案 名	宇都陽一郎	湯元秀誠	塩入英明	益森隆史	馬場修二	国生卓	森川和美	桃木野幸一	和田里志	小田原優	峯下洋	岩下陽太郎	松元卓也	萩原哲郎	新福愛子	竹下日出志	大坪祐輔	上村親	有川洋美	堀広子	谷口義文	賛成	反対	
専決処分について承認を求める件(始良市税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21	0	
専決処分について承認を求める件(始良市都市計画税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21	0	
専決処分について承認を求める件(始良市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	18	3	
始良市特別職非常勤職員の報酬及び費用弁償等条例の一部を改正する条例の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21	0	
工事請負契約の締結に関する件(あいら清掃センター基幹的設備改良工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21	0	
令和7年度始良市一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	議長 職代行	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20	0	
令和7年度始良市一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20	0
ゆたかな学び・教職員定数改善、義務教育費国庫負担制度の2分の1復元を求める自治体議会意見書採択の請願について	×	×	×	×	×	○	○	×		×	○	×	○	○	×	×	×	×	○	○	○	8	12	
急傾斜地崩壊対策事業の推進を求める請願書	継 続 審 査																							
「西始良校区コミュニティセンター」建設に関する請願書	継 続 審 査																							

一般質問

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。
掲載内容は、各議員本人が質問と答弁を要約したものです。

ただ 市民目線で15人が市政を質す



市のプロモーション



市政クラブ 始良
和田 里志



問 本市が参加もしくは関係する全国規模のプロモーションと最も重点を置くものは何か。

答 都市圏等で開催される始良市ふるさと会をはじめ、関東鹿児島県人会や関西がごしまファンデー、日本各地で開催される日本の森・滝・渚全国協議会や国立公園関係都市協議会などを通して、本市の知名度向上に向けた取組を展開している。

また、企業に向けては、関東・関西で開催される鹿児島県企業立地懇話会などのほか、数多くの機会をとらえてブース等設け、始良市のプロモーションを実施している。

最も重点を置くものは、始良市の認知度の更なる向上と、交流人口・関係人口の創出・拡大である。



始良市シティプロモーション

その他の質問

○NHKテレビ受信料の未払い問題
○新たな企業誘致用地と道路整備

市営住宅の現状



志成会
国生 卓



問 耐用年限を超過した住宅への対応が必要であるが、どのような方向性を示すのか。

答 公営住宅等長寿命化計画策定時の管理戸数は1435戸であったが、耐用年限を超えた住宅は、解体等を順次行ってきた結果、計画策定時より118戸減少している。

今後も、用途廃止と位置付けられている住宅は解体等を進め、全体戸数の縮減に努める。

一般廃棄物収集処理施設の現状

問 生活環境の保全と公衆衛生の向上を図ることを目的とした廃棄物収集処理施設の現状は。

答 収集場所の事業者に対し、県と連携して現状確認を行い、適切な改善措置を講じるよう促している。

コミュニティバス運行



志成会
萩原 哲郎



問 利用者の利便性向上を図るため、重富駅での待機時間や路線を変更できないか。また、新規のバス停設置は検討できないか。

答 実現させるためには、地域公共交通会議での承認と「道路運送法」に基づく九州運輸局の認可が必要である。まずは、バス事業を委託している運行事業者と協議したいと考えている。

サポランドパーク始良

問 草スキー場は、これまで多くの子どもたちが利用している施設である。今後も安全対策をとったうえで遊べるように整備できないか。また、多種多様な生き物が棲むじゃぶじゃぶ池に戻るように水草の植栽ができないか。

答 県に確認したところ「利用者等が安全を確保した上で、自由使用の範囲内で利用していただきたい。」とのことである。

じゃぶじゃぶ池については、自然環境に近い池に回復させるため、水草が根付くように環境保全に努めていく。

その他の質問

○道路整備と住居表示・防犯カメラ設置



志成会
森川 和美



役所の開庁時間短縮実施

問 役所の開庁時間短縮の考えは。

答 近年、職員のワーク・ライフ・バランスを実現しつつ、協議時間の確保や業務改善を図ることを目的に、開庁時間の短縮に取り組む自治体があることは認識している。

開庁時間の短縮においては、職員の業務改善のみならず、総体的に市民サービスの質の向上につながることも重要である。

今後、マイナンバーカード交付状況や開庁時の窓口対応の現状把握を行うとともに、先行自治体の動向も注視し、情報収集に努める。

無縁社会の対応

問 本市の実態と今後の対応を問う。

答 身寄りがない方などの遺骨は、本市が管理している墓地に埋葬しているその件数は、令和6年度が5件、5年度2件、4年度1件である。

今後の対応としては、国の動向を注視しながら、本市が独自で作成した「身寄りがない方への支援の在り方ガイドライン」を7年度中に見直す予定である。

その他の質問

○熱中症対策を万全に



あいち敬愛会
岩下陽太郎



令和8年度コミュニティ・スクール実施

問 コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の推進に向けた取組や段取り等を説明せよ。

答 現在、令和8年度の導入に向け、学校管理職研修会や校区コミュニティ協議会等で意義や目的について周知・説明を行っている。

学校運営協議会設置にあたり、SSVC事業の地域学校協働活動推進員や校区コミュニティ協議会の代表・保護者や地域住民などを委員とし、協議会で学校運営への必要な支援を協議し、円滑かつ効果的な地域学校協働活動を行う予定である。

今後、引き続き周知・説明を行い、学校と地域住民の連携・協働により、子どもたちの成長を支えていく体制を構築していきたいと考えている。



より詳しく知りたい方へ配布している資料

その他の質問

○交通弱者に対応する公共交通の構築や移動支援

○メタバースを活用した不登校支援

○特別支援教育



市民くらぶ
塩入 英明



道路行政

問 連続立体交差事業（鉄道の一定区間を高架化する）についての検討は。

答 都市交通の円滑化や線路で分断された市街地の一体化などを図り、都市活動の活性化に寄与する事業で、鉄道を連続的に高架化又は地下化することにより、道路と鉄道の連続立体交差化を図る事業となっている。

本市は「都市における道路と鉄道との連続立体交差化に関する要綱」において、施行者として定められている「都道府県、政令市及び人口20万人以上の中核市」に合致しないことから、本事業を活用することはできない。

熱中症対策

問 熱中症の健康被害を防止するクーリングシェルター（涼み処）を増設できないか。

答 現在、市内公共施設7か所、民間施設2か所を指定している。今後、誰もが自由に涼める場所の普及拡大に努めていく。



涼み処の普及拡大を

家庭での食中毒対策

問 家庭での食中毒対策の広報をどう考えるか。

答 「家庭でできる食中毒予防の6つのポイント」を市のホームページへ掲載し、健康教室などで食中毒予防の注意喚起を行っている。

今後も保健所との連携を図り、市公式LINEやホームページ、広報紙などで食中毒予防の情報提供に努めていく。

その他の質問

○自転車の交通ルール



公明党始良市議員
竹下日出志



公明党始良市議員
新福 愛子



子育て支援策の拡充

問 子どもを持ちたいと願う人が安心して子育てできる環境整備を問う。

①授乳室への「搾乳できますマーク」の表示 ②「父親の産後うつ」への配慮 ③「産後ドゥーラ」資格取得への補助 ④母子健康手帳への「親子手帳」などの併記 ⑤「小1の壁」への取組。

答 ①「搾乳マーク」は本庁舎1階の授乳室入口に設置を検討する。

②「父親の産後うつ」への配慮として、父親へのパンフレットの配布時期を新生児訪問時に変更してサポートしていく。

③④⑤に対しては今後、国の動向や先進自治体を参考に調査・研究していく。



後日、本庁舎に設置されたマーク

その他の質問

○カスタマーハラスメント防止策と条例の制定

志成会
谷口 義文



交通安全確保

問 本庁舎近くの鹿児島銀行始良支店南側道路沿いには、郵便局、店舗もあり、多くの利用客が行き来している。

この道路は道幅も広くなく、歩道の設置もないため、車の往来や歩行者にとっても危険な状態である。

一方通行もしくは駐停車禁止または歩行者優先道路（時間帯を設定）等に変更できないか。

答 一方通行などの交通規制に関することは県公安委員会の所管となることから、市としては当該道路付近の交通量の状況等に関して始良警察署と情報を共有し、連携を図りながら歩行者や車両が安心して通行できる安全対策について調査・研究をしていく。



多くの車が往来する市道

その他の質問

○コメ問題
○孤独死

市政クラブ始良
宇都陽 一郎



始良市ふるさと会

問 本市の状況は。

答 関東・東海・関西の3つの地区に「ふるさと会」があり、令和6年度から始良市HPに掲載して会員募集している。また、広報紙でも「ふるさと会」を紹介している。

問 ふるさと会の会員から、どの位のふるさと納税に繋がっているか。

答 本市へのふるさと納税寄付者が、ふるさと会の会員であるか否かを特定することはシステム上困難である。

また、ふるさと会の総会に、ふるさと納税推進係長が同行し、返礼品のPRやふるさと納税の取組、ふるさと納税の寄附の依頼について説明している。

地域下水処理施設

問 地域下水処理施設と農業集落排水処理施設の維持費が上昇しているが、今後の対応は。

答 エネルギー効率の高い機材等を導入することで、コスト削減に努めている。

市民くちがわ
峯下 洋



農業振興策

問 本市の主食用米の作付面積・収穫量についての現状を示せ。

答 本市が把握している主食用米の作付面積は、令和6年産で、およそ675haである。

県農業再生協議会が示している始良市の10a当たりの平均基準単収489kgで計算すると本市の収穫量は、およそ3300tと推測される。

教職員の負担軽減

問 部活動の地域移行と校務支援システムの活用は。

答 令和5年度から部活動の地域移行に向けた検討委員会を設置し、6年度に「部活動の地域連携や地域クラブ活動の在り方等に関する方針」を作成した。7年度は、部活動指導員の配置希望があった中学校2校に3人を配置した。今後、国や県に補助の増額を要望するとともに一人でも多くの配置に努めていく。

また校務支援システムとグループウェアの導入により、情報の共有化が促進され負担軽減が図られている。



市政クラブ始輝
桃木野幸一



加治木支所の整備

今後の整備計画を示せ。

問 加治木支所の広場は防災拠点と市民交流の場として整備し、広さは約5200㎡を予定している。

答 近年頻発する集中豪雨時の一時雨水貯留地、緊急時のドクターヘリの着陸帯や子ども们的ケガ抑止等を考慮し、芝生による整備を計画している。

問 駐輪場や屋外トイレ・あずま屋の他、災害対策として防災パーゴラ・かまどベンチ・電源供給のできるソーラー型外灯などを設置し、有事の際に備える。

答 また、広場周りにウォーキングコースを設け、市民の健康増進や加治木地域の歴史を紡ぐ交流の場を目指し整備する。



加治木支所広場整備計画平面図

その他の質問

- ちるどんの運営
- 通学路の安全体制
- 有害鳥獣被害防止対策
- 消防体制



市政クラブ始輝
湯元 秀誠



生活道路整備と倒木被害対策

問 中山間地域の自治会では、市道、河川のやぶ払いや溝の堆積物除去作業に関わる人の減少で、住民の負担が増しており、対応には専門性が必須と見られるが考えを問う。

答 現行の自治会活動交付金要綱の制度内容の見直しを行い、道路・河川の愛護作業に対応する土木部門の専門性など、あり方を検討する。

荒廃しつつある県道周辺の維持管理

問 県道の支障木を含め、危険度は深刻な状況である。

答 市から県への要望、陳情を高めるべきだが考えを問う。

問 毎年、県へ全路線の維持補修等が必要な箇所を要望している。道路に張り出した木や竹の伐採について、市の広報紙や県のホームページにおいて所有者への周知に努めている。



危険木が頭上に迫る県道の状況



堀 広子



障がい者・高齢者の投票権

問 移動支援制度には、投票所までの移動が困難な障がい者や高齢者を対象に、自宅前で投票できる「移動式期日前投票」がある。

答 利用するには、事前の申し込みが必要であり、政府は積極的に設置するよう通知している。本市でも検討すべきではないか。

問 国や関係機関からの情報及び他自治体の取組状況を注視し、調査・研究を進めていく。

災害対策

問 本市では、約1万3100戸が未耐震住宅としている。能登半島地震を教訓に耐震改修促進計画の充実を図り、耐震化を促進すべきではないか。

答 本年度から耐震改修工事補助金限度額を30万円から115万円に増額している。今後も耐震化促進の施策を実施していく。

その他の質問

- 介護給付費準備基金条例

おこたわり

第2回定例会で一般質問をされました小田原優議員につきましては、本人からの申し出により掲載しておりません。

総務常任委員会(ミッションロードマップの実現に向けた所管事務調査)

●京都府福知山市「シティプロモーション」

平成28年度から「市民が自分のまちを誇れること」「市外の人に福知山市を知ってもらうこと」の2つを軸に、「いがいと！福知山」「明智光秀が築いた城下町 福知山」という2つのブランドメッセージを基本として事業展開をしている。

「いがいと！福知山」では市民の「自“市”肯定感が低い」点を課題に設定し取り組んでいたが、明智光秀が令和2年の大河ドラマに取り上げられることが決定したことから「明智光秀」を軸にしたシティプロモーションへ舵を切った。

福知山観光案内所は福知山駅北口に設置されており、訪れた市外の人が気軽に立ち寄れるよう整備されている。



●兵庫県丹波市「観光・商工業振興」

平成30年に『丹波市観光・商工業振興ユニティプラン』を策定し、観光と商工業が連携した取組を推進している。

具体的には、産業経済部の中に農林振興課・観光課・商工振興課があり、連携し成功したものが丹波市の観光・商業・農業が有機的に連携する拠点施設「道の駅 丹波おばあちゃんの里」である。年間約37万人の来館があり、賑わいを創出している。また、体験型学習施設でありながら、観光施設としても大きな役割を担う教育委員会「恐竜課」所管の「たんば恐竜博物館」を視察した。恐竜の化石のレプリカ、地層の展示等、本格的な博物館となっている。



文教厚生常任委員会(ミッションロードマップの実現に向けた所管事務調査)

●久留米市「※重層的支援体制整備事業」

重層的支援体制整備事業を令和3年度より先行して実施しており、制度の狭間にある複雑な課題を抱える住民へ多機関で連携して支援できる体制を構築している。

また、市内にある機関がそれぞれ連携し、包括的な支援を行う体制を整備するとともに、支援対象者の早期把握やアウトリーチにも力を入れている。地域での支え合いを促進することにより、誰一人取り残さない地域づくりを進めている。



※ 重層的支援体制整備事業とは、社会福祉法の改正により、これまでの福祉制度・政策と、人びとの生活そのものや生活を送る中で直面する困難・生きづらさの多様性・複雑性の支援ニーズに対応するために創設された事業。

●福岡市「ICTを活用した地域包括ケア」

人生100年時代を見据え、誰もが心身ともに健康で自分らしく活躍できる持続可能な社会を目指すプロジェクトである「福岡100」構想のもと、市が保有する医療や介護、健診等のビッグデータを集約・活用するシステムを構築している。

また、行政や医療・介護機関との情報共有により、高齢者の見守りや予防的支援が円滑に行える体制を整えるなど、健康寿命の延伸と地域全体のつながり強化を目指し、デジタル技術を活用した先進的な取組を推進している。



福岡市のビッグデータを集約・活用するシステムの概要

●島根県安来市 えいひだカンパニー「地域農村型RMO（地域運営組織）の取組」

人口減少による地域存続への危機感から、住民の意見を元に地域ビジョン策定を行い、自治機能と生産機能を併せ持った株式会社を設立し、地域活性化に向けた事業を行っている。農作業受託により高齢農家の営農支援や地域の農産物を活用した商品を開発・販売し、ふるさと納税の返礼品としても出品している。

また、地域の生活環境、耕作放棄地等を活かした産業振興、地域の魅力発信、定住促進、地域内雇用の創出を行いながら、故郷を未来へ繋ぐために若い人材育成にも取り組み、持続可能な地域づくりを目指し住民が力を合わせて取り組んでいた。



●鳥取県倉吉市「上灘中央住宅（子育て支援施設を併設した公営住宅）の整備」

公営住宅、公民館施設、子育て支援施設の老朽化等に伴い、同じ時期に建て替える必要があったため、子育て支援施設を併設し、防災倉庫を備えた公営住宅が、上灘中央交流センターに隣接し建設されていた。公営住宅の入居率は建設当時（平成24年）から概ね100%を維持している。

子育て支援活動、地域自治活動の拠点が一体となることによって、各施設の相互間の有効活用が行われ、中心市街地の活性化が図られていた。



議会改革推進会議

第13回議会改革推進会議（令和6年5月20日開催）において新たな幹事会役員を選出しました。
今回は、その後に行ってきたことについて、その一部を紹介します。

令和6年7月／語る会オンライン開催

子育て世帯の声を聴くことを目的として、議会では初めての試みとなるオンライン会議システムを利用した「語る会オンライン」をPTA会長会の皆さまと行いました。

オンラインも組み合わせた語る会をこれからも計画していきます。

令和6年9月／始良市議会デジタル化行動計画の策定

国や地方自治体のデジタル化の進展を受け、議会運営の効率化と透明性の向上を目的として本市議会独自のデジタル化行動計画（令和7年度～令和10年度）を策定しました。

コスト削減や災害時の迅速な対応、市民参加の拡大と議会の透明性向上が期待されます。

令和6年12月／始良市議会BCP（業務継続計画）の更改

もし会期中に災害が起きたら……。
議会は有事の際にどう行動するか、どのような役割があるか等の確認を行い、計画の更新を行いました。

災害時における議会の役割、行動基準、体制構築、情報収集、環境整備などを網羅的に記載し、具体的な指針を示しています。

令和7年5月／始良市議会クラウド利用規程の策定

デジタル化の時代にあわせて、市議会公式のクラウドアカウントとして利用できるよう規程の策定を行いました。

ネット上の便利なツールを利用することにより、市民とのつながりを強くするルールを作りました。

令和7年7月～／定数と報酬に向けた議論の再開

令和6年6月、これまで協議してきた議員定数と報酬案は白紙撤回となりました。

これまで行ってきた議会改革や市民の意見をもとに、改めて協議を行っていきます。

これからも本市の現状を分析し、未来を見据えながら議会がどうあるべきかを考え、議会改革を行ってまいります。

なお、資料については、始良市のHPから議会改革推進会議のページにて閲覧できます。



**表彰
全国市議会議長会
特別表彰・感謝状**

市議会議員として20年以上の長きにわたり市政の発展に貢献したことに對し2名の議員が表彰されました。

また、全国市議会議長会の産業経済委員会委員長、国と地方の協議の場等に関する特別委員会委員として、その功績に對し議長に感謝状が贈られました。

● 永年勤続特別表彰（20年以上）

森川 和美 議員（写真左）

上村 親 議員（写真中央）

● 感謝状

小山田邦弘 議長（写真右）



あなたの写真を掲載しませんか。

**写真
募集中!**

始良市議会では、議会だよりの表紙に掲載する、市民の皆さんが撮影した写真を募集します。

- **募集内容** (1)市の魅力が伝わるようなもの(場所・人・食べ物など)や日常の面白い・感動した・珍しい瞬間 など
(2)スマートフォンやデジタルカメラなどで撮影した画像データで、加工していないもの
- **掲載内容** 応募写真、撮影者の氏名(ペンネームや匿名も可)、写真のタイトル(15字以内)と説明文(100文字以内)
- **応募条件** (1)応募者本人が撮影した写真であること
(2)他のコンテストなどに応募していない写真であること
(3)次の事項に当てはまらない写真であること
公序良俗に反するもの・広告、宣伝、加入、営業活動、その他営利目的であるもの・プライバシーや著作権、肖像権などを侵害するもの・他の人を差別・誹謗中傷するもの・立入禁止の場所で撮影されたもの
- **注意事項** (1)応募した写真が必ず掲載されるものではありません。
(2)掲載にあたり、タイトルや説明文を修正する場合があります。また、レイアウトの都合上、写真を加工する場合があります。
(3)市議会は、応募写真を無償で使用する権利を有するものとします。被写体の肖像権侵害等をはじめ、掲載により応募者に生じたトラブルや侵害等について、市議会は一切の責任を負いません。
(4)応募する写真の一部に第三者がいる場合は、必ず第三者本人(被写体)に事前に承諾を得てください。また、被写体が未成年の場合は、親権者の承諾を得てください。
- **応募方法** 議会事務局へ直接お持ちいただくか、またはメールでお送りください。
メールアドレス: gchosa@city.aira.lg.jp 締め切り: 10月10日まで



議会だよりNo.61(令和7年11月30日発行)に掲載予定

傍聴席へどうぞ

令和7年第3回定例会は、
9月2日(火)から開会予定です。

● **場所**／始良庁舎2号館 3階議事堂

● **車いす席もあります。**

議会日程や議会中継は、市ホームページで
ご覧いただけます。



お詫びと訂正

令和7年4月30日発行の「始良市議会だよりNo.59」において、次のとおり誤りがありました。訂正して心からお詫び申し上げます。

● P5(下段) 請願の趣旨

【誤】森山地区 → 【正】城下地区

● P6(下段) 人事「固定資産評価審査委員」

【誤】益崎宏樹氏 → 【正】益崎広樹氏



表紙の写真は、少なくなった市街地の田んぼを借りて、昔ながらの田植を体験する始良小学校5年生の子どもたち。泥んこになりながらも楽しそうな様子。収穫の秋が待ち遠しい。

編集後記

今年は戦後80年の節目の年、「8・11空襲の日・平和の集い」も20回目を迎えました。

戦争の悲惨さと平和の尊さを語り継ぐ集いに参加し、対立を超え、誰もが安心して生きることができる平和と共生社会を次代に繋げていくことの大切さを感じました。

暦の上では立秋を迎えましたが、厳しい残暑は続きますが、熱中症予防に取り組みながら、市政施行15周年の実りの秋を迎えていきたいものです。

竹下日出志

編集・発行責任者

広報広聴常任委員会

議長 小山田 邦弘

委員長 大馬 祐輔
副委員長 宇都 坪場
委員 塩入 陽太郎
委員 新井 英一
委員 竹下 隆志
委員 和森 里志

和森 里志
竹下 隆志
塩入 陽太郎
大馬 祐輔
宇都 坪場
新井 英一
大馬 祐輔